

「防災塾・だるま」2月定例会 議事録

<http://darumajin.sakura.ne.jp>

- ◆日時 : 2019年2月22日 15:30~17:30 司会: 紅林敏行
- ◆場所 : 神奈川大学 24号館310室
- ◆出席者 : 荏本、高松、中島、山口(章)、田中(喜)、山田(美)、片山、佐々木、山田(富)、稲垣早川、紅林、増田(佳)、田中(栄)、中村(誠)、鷲山、釜石 計17名(敬称略)
- 配布資料: 1. 2月テーマ「自然災害の情報収集と情報共有について」
2. 2月「毎月の情報」(談義の会裏面)
3. 一斉送信メールにトラブルが発生している
4. 第163回談義の会レポート「北海道胆振東部地震を体験して」(1/25開催)
5. チラシ関係: 第165回談義の会チラシ(3/22開催)

*お願い=会議室使用時の注意:

大学24号館310室使用時の注意(廊下での発声・携帯電話、机椅子の移動時)

【I 意見交換: 今月のテーマ】「自然災害の情報収集と情報共有について(資料①参照)」

＜発言から抜粋＞・・・紅林、稲垣、田中(喜)、山口(章)、片山、鷲山、釜石

- ・LINEは家族と親戚との間で使っている。去年の豪雨災害の時も連絡した
- ・緊急時、自治会の役員間の連絡はLINEを使うようにしている
- ・クチコミでもリスク情報を伝えることが近所の絆として大事とNHKでも報道あり。LINEで伝えられるのか疑問
- ・今までLINEというシステムが壊れるという災害が起きていない。熊本地震の時は通信会社の施設が通信可能だったので携帯・LINEが使えたが、昨日の北海道の地震ニュースでは、NHKとか同じ内容の放送が繰り返され、ローカルの情報が流れてこない
- ・私の自治会の災害時の情報伝達はメガホン。軽自動車に拡声器を用意している
- ・本当に大切な「助けて!」という情報が、本物なのかどうかの判断が難しい
- ・海外経由の情報で助かったという例はあるが、個人の「助けて」に信ぴょう性はどこまである
- ・学校の場合、職員の安否確認はメール。初期消火・避難情報を知るため火災情報が一番大事で、二番目に地域の安否確認と思う。保護者は、メーリングリストに登録された人には、即連絡
- ・学校情報は自治会には入ってこない。お母さん達から自治会が協力してくれないと言われる
- ・情報とは何か? 先ず整理が必要ではないか。SNS間の比較よりは、確認した情報・信用できる情報だけ信じるという姿勢が大事。北海道地震の時のように、災害情報が放送されない時ほど大変な状態が起っている、と判断する必要があるのではないか

【II 運営関係】

1. 会員、会計関係・・・中島
 - ・会員は1月末現在で134名。内学生会員5名について、既卒業か在学中なのか確認
 - ・平成30年度年会費未納者16名については、会則で退会となる旨メール連絡
2. HP・情報提供など・・・中島、増田、紅林
 - ①HPの更新(1/20~2/15)状況について
 - ・2月だるま役員会議事録 ・1月だるま定例会議事録 ・第163回談義の会レポート
 - ・毎月の情報2月分 ・第164回談義の会チラシ
 - ・第162回談義の会の講演資料(釜石講師)
 - ②2月の情報(配布資料②参照)
 - ・会員紹介の本:『東日本大震災[災害遺産]に学ぶ-来るべき大地震で同じ過ちを繰り返さないために』(海文堂出版)。
 - ・中区防災講演会3/17:「過去から学び、未来に備える」(大久保横浜市衛生研究所長紹介情報)
 - ③一斉送信メールに発生したトラブルについて(配布資料③参照)
 - ・原因はセキュリティ強化の影響による。メール添付資料データ容量は1MB以下で配信すれば無難
3. 運営: 定例会・談義の会・・・紅林、高松、中島
 - ①第163回談義の会(1/25)の感想(配布資料④参照)
 - ・外国人旅行者が多く、相原氏が観光客用避難所で宿泊することになったことに驚き。横浜には外国人用避難所は無く、外国人以外の人が避難可能とするのか等、議論はこれからではないか

- ・横浜市には、観光・仕事での滞在者も利用可能な「帰宅困難者一時滞在施設（229施設）」が18区に設置（30年4月現在）されているが、発災後、直ぐに開設されるわけではない
 - ・液化化が発生との情報は間違った判断、現地の地盤構成を解析すれば、別の要因によるもの
- ②2月 第164回談義の会 テーマ：「豪雨による災害に向けた行政サイドの対策」
講師：藤岡浩之氏（KKハレックス 社長）

③3月～5月の予定

- 3月 第165回談義の会 テーマ：「神奈川県における被災地支援～東日本大震災から8年～」
講師：佐川範久氏（神奈川県くらし安全局災害対策課長）（詳細：チラシ参照）
- 4月 第166回談義の会 テーマ：「海洋地球研究船“みらい”体験記（仮題）」
講師：赤嶺正治氏（横浜海洋福祉協会）

4. だるま会議の会場：大学での会場確保が難しくなり、新年度は大学以外での開催も組み入れる。
5. 会議開催時間の変更：講師、参加者（会員・一般）の利便性及び会場制約を踏まえ新年度（4月26日）から定例会・談義の会の時間を変更します。
- ・だるま定例会 14：15～15：45（90分）
 - ・談義の会 16：00～17：30（90分）

*時間は上記を基本、講師都合・議題及び会場予約状況その他の事情により変更もあり

6. 2019年度総会は5月定例会開催日に開催（5/24（金）又は5/31（金）、於：関内ホール）

【Ⅲ 主催・共催事業など】

1. 「神戸訪問 1.17 慰霊祭など」・・・田中（喜）
荏本塾長含め7名参加。参加感想についての報告は3月定例会
2. J-DAG、3BWGの活動・・・片山、早川

- ①J-DAG：4月相模原市で実施予定。城西大学における体験授業は、7月頃実施計画あり
- ②「防災めぐり（子供V）1セット50枚構成」の取扱い
- ・販売：だるま会員、講座受講者には500円（実費）、一般希望者には1,000円とする。
 - ・だるまとして「防災めぐり」を6セット購入（3,000円）し、イベントなどで活用する。
- 南足柄中学（2月27日）で、中学生に初使用を予定

【Ⅳ 協力・参加・情報・その他】・・・中島、荏本、山田（美）、山田（富）

- ・3/3「日本建築士会連合会青年委員会」で防災体験ワークショップ（講師：白田・中村（俊））を実施。同会では6月にもHUGの実施要望がある
- ・3/2 緑区防災講演会「命を守る備え」講師：山村武彦氏 入場無料 定員500名 緑公会堂
- ・10周年になる大井町まちづくりの会、町内での認知度はまだまだだが、更に活動を継続したい
- ・ひらつな祭（3/10）開催：防災スタンプラリー・防災まち歩きなど多彩なイベント実施

【Ⅴ 今後の予定】（だるまHPの「カレンダー」参照）

1. 平成31年3月例会 3月22日(金) 会場：横浜市青少年育成センター
(関内ホール地下2階) 第1研修室 月担当：田中（晃）、増田
- ・第165回談義の会 13：00～14：30 担当：田中（晃）、増田
話題：「神奈川県における被災地支援 ～東日本大震災から8年～」
講師：佐川範久氏（神奈川県くらし安全局災害対策課長）
 - ・定例会 テーマ：「1.17 神戸訪問 報告」15：00～17：00 担当：田中（晃）、増田
 - ・3BWGプロジェクト 休会 担当：片山
 - ・役員会 3月5日（火） 10～12時30分 851C
 - ・資料準備 調整中 851C
2. 平成31年4月例会 4月26日(金) 会場：24号館 310室 月担当：稲垣、田中（喜）
- ・3BWGプロジェクト 13：30～14：00 担当 片山
 - ・定例会 テーマ：「未定」 14：15～15：45 担当：稲垣、田中（喜）
 - ・第166回談義の会 16：00～17：30 担当：稲垣、田中（喜）
話題：「海洋地球研究船“みらい”体験記（仮題）」
講師：赤嶺正治氏（横浜海洋福祉協会）
 - ・役員会 4月9日（火） 10～12時30分 大学-851C
 - ・資料準備 (当日) 13～13時30分 大学-851C

以上

（記録：中村 誠）